

ラッピングバスがシンガポールを走る！ ～北海道に臨時航空便が就航～

シンガポール事務所

2014 年 10 月 3 日から 12 月 25 日までの 12 週間、シンガポール国内の路線バス 10 台が、札幌市を宣伝するために、外装をデザインされています。10 月 3 日には井上唯文札幌市副市長が来星され、このラッピングバス発車を記念するセレモニーが行われました。

井上副市長は、北海道旅行の魅力と共に、「2013 年にシンガポールから札幌市へ訪れた人は前年比で 1.8 倍に増えています。

シンガポールと札幌市の間で、観光や経済の交流が一層盛んになることを願っています。」と今後の期待について話しました。



バスを紹介する井上副市長



バス車内の広告

ラッピングバスは、「自分だけの感動をみつけよう」をテーマに、北海道の冬の景色、観光名所、美味しい食べ物の写真があしらわれ、札幌市の冬の魅力が伝わるデザインとなっていました。また、人気キャラクターの「初音ミク」が大きく描かれ、遠くから見ても一目で分かるデザインとなっていました。さらに、車内にも札幌市の食の魅力や臨時航空便の広告を施していました。

札幌市は「シティプロモート分野の連携に関する協定」に基づいて、地元企業が作り出した「初音ミク」を市の広報に起用しています。2013 年には、タイ・バンコクで空港と市内を結ぶ電車のラッピングデザインにも「初音ミク」が利用されています。

今回、ラッピングバスを走らせた背景には、12 月 1 日から翌 1 月 16 日までシンガポール～札幌間で、シンガポール航空臨時航空便が 17 往復就航することがあります。実際に札幌へ訪れることができる、冬のイメージに絞った効果的な PR であると感じました。

(太田所長補佐 浜松市派遣)